

序章

なぜ今、「エステティックと医療の境界」なのか

1 美容を取り巻く環境の変化

近年、美容に対する国民の関心は一層高まり、エステティックを取り巻く環境は大きく変化しています。

美容機器や化粧品の技術革新に加え、美容医療の普及、セルフエステの台頭、SNS や動画配信サービスを通じた美容情報の急速な拡散などにより、老若男女・幅広い世代にわたり、これまで以上に多様な美容サービスに触れる機会を得ています。

その一方で、膨大な情報の中には、科学的根拠が十分ではないものや、医療とエステティックの違いを理解しないまま安全性を無視して、発信されている情報も少なくありません。十分な知識を持たずに過剰な美容を追究することで想定外の事故が起こることがあるのです。美容施術を提供するエステティシャンとして顧客が適切なサービスを選択できるような社会啓発に関わり、正確な情報に基づいた判断のもとに施術提供をしていくことがますます重要となっています。

2 「境界」が見えにくくなっている現状

エステティックと医療は、いずれも人の身体に関わる専門分野ですが、その目的や役割は異なります。

しかし近年では、美容医療の発展や美容機器の高性能化により、施術内容や広告表現の一部において両者の違いが分かりにくくなる場面も見受けられます。

また、SNS 等では「医療レベル」「治療級」「再生」「修復」など、医学的な印象を与える表現が用いられることもあり、顧客がサービスの性質を正確に理解しにくい状況が生じています。

エステティックに携わる者にとっても、自らの専門領域を改めて確認し、安全なサービス提供の在り方を見直すことが求められています。

3 エステティックに求められる社会的責任

エステティックは、健康な人を対象として、美容の維持・向上や心身のリラクゼーションを通じ、生活の質（QOL）の向上に寄与する専門サービスです。

施術を受ける人の多くは、美しくなりたい、自信を持ちたい、心身をリフレッシュしたいという期待を抱いて来店されます。基本的には健康な顧客対象ですが健康そうに見える様々な顧客も癒しを求めて訪れることもあるでしょう。

多様性社会の中で癒しを求めて訪れる顧客の期待に応えるためには、高い技術力だけ

ではなく、観察力、情報収集能力、安全性への配慮、適切な衛生管理、十分な説明、そして専門職としての倫理観を身に付けることが要求されます。

とりわけ、医療との役割の違いを正しく理解し、自らの専門領域を尊重しながら業務を行うことは、顧客の安全を守るうえで重要な責務です。

4 境界を守ることは、エステティックの価値を守ることである

「医療との境界を守る」という考え方に対して、「業務範囲が狭くなるのではないか」と不安を抱く方もいるかもしれません。

しかし、本来その考え方は、エステティックの可能性を制限するものではありません。むしろ、自らの専門性を明確にし、安全で質の高いサービスを提供することによって、社会からの信頼を高めるための基本となるものです。

医療には医療の専門性があり、エステティックにはエステティックの専門性があります。それぞれが役割を尊重しながら連携することにより、顧客は安心して自らに適したサービスを選択することができます。

境界を理解することは、エステティックの未来を守ることであり、専門職としての誇りを守ることでもあります。

5 本冊子の目的

本冊子は、エステティックに携わるすべての方々が、医療との境界について正しく理解し、安全で適正なサービスを提供するための基本的な考え方を整理することを目的として作成しました。

本冊子では、エステティックと医療の役割の違い、適正な業務範囲、安全管理、広告・表示、カウンセリング、事例を通じた実践的な対応などについて解説しています。本冊子が、エステティック業界に携わる方々の日々の実務や教育の一助となるとともに、消費者から一層信頼されるエステティックサービスの実現につながることを期待します。